

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010101

事業名		救急救命士等研修訓練事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
令和2年度決算額		4,809	千円	項目評価		総合評価 A	
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	93	千円				
	一般財源	4,716	千円				
事業費（総計）		11,861	千円				
決算額		4,809	千円				
人件費		7,052	千円				
事業の目的		救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者及びドローン操縦者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標 		<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成 救急救命士を養成するために、年次計画に基づき、札幌市消防局救急救命士養成所へ職員を1名派遣。 ・大型自動車運転免許資格者養成 大型自動車運転免許を年次計画に基づき5名養成。 ・大型特殊自動車運転資格者養成 大型特殊自動車運転免許を年次計画に基づき1名養成。 ・ドローン操縦者の養成 ドローン操縦者を年次計画に基づき2名養成。 					
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
	救急救命士養成		人	1	1	1	
	大型自動車運転免許資格者養成		人	5	5	8	
	大型特殊自動車運転資格者養成		人	1	1	2	
項目評価	高 → 低				評価の理由		
	4	3	2	1			
	有効性	●				消防活動等に必要な資格者等を養成し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。	
	効率性	●				他の職員へも知識、技術を伝承することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。	
	公平性	●				計画的な資格者等の養成により市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。	
将来性	●				消防体制の維持、強化のために計画的に資格者等の養成を実施することにより、市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。		
総合評価	A		免許、資格を有する職員は、市民の安心、安全には欠かすことができず、今後も養成を継続したいと考えています。				
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010102

事業名		緊急消防援助隊合同訓練事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和2年度決算額		72	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	72	千円								
事業費（総計）		7,124	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A	
総合評価											
A											
決算額		72	千円								
人件費		7,052	千円								
事業の目的		緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。									
事業の内容		SDGs17の目標 <ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練（中止） 									
実施結果（活動指標）											
		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		緊急消防援助隊合同訓練（北海道・東北ブロック）		回	0	0	1				
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●						技術の向上及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、水災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られているため、「4」としました。			
効率性		●						部内で知識、技術の伝承をすることで、質の高い隊・車両の編成、運用を行っているため、「4」としました。			
公平性			●					北海道、東北及び新潟を含めた8道県で年度ごとに持ち回りで実施し、大規模・特殊災害に、迅速かつ的確な対応が出来るよう実施しているため、「3」としました。			
将来性		●				緊急消防援助隊合同訓練に参加することで、有事の際の迅速な活動につながるため、「4」としました。					
総合評価		A				今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、多様化する災害から市民の安心、安全を守るために、技術の向上及び連携活動能力の向上を図り計画的に訓練へ参加します。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 02非常備消防費

事務事業番号 09010201

事業名		消防団活性化事業		担当部署	消防本部 総務課			
根拠法令		消防法						
令和2年度決算額		774	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	774	千円					
事業費（総計）		1,479	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>				
決算額		774	千円					
人件費		705	千円					
事業の目的		消防団員の消防技術の向上を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防操法訓練大会（中止） ・ 多数傷病者事故対応訓練（中止） 						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		消防操法訓練大会		回	中止	1	1	
		多数傷病者事故対応訓練		回	中止	1	中止(災害)	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性	●							個別訓練の実施により、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができたため、「4」としました。
効率性	●							消防団員の費用弁償と人件費が事業費の大半を占めており、必要最低限の経費で事業を実施しているため、「4」としました。
公平性		●						個別訓練の実施により、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができたため、「3」としました。
将来性	●					継続した事業実施により、消防団員の消防技術のさらなる向上が期待できるため、「4」としました。		
総合評価		A				今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練大会等は中止になりましたが、個別訓練の実施により消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができました。		
特記事項								


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010301

事業名		消防施設・装備等整備事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
令和2年度決算額	77,647	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	56,303	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	21,344	千円						
事業費（総計）	88,225	千円							
決算額	77,647	千円							
人件費	10,578	千円							
事業の目的	災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資機材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・救急活動支援端末の購入 ・多言語通訳サービス、NET119緊急通報システムの導入 ・市街地における水利不便地区の消火栓の新設、勇払地区における防火水槽の新設 ・消防職員用防火衣の更新 ・救急活動に必要な訓練用資機材の更新 ・感染対策用備蓄資機材の購入 ・トランシーバーの購入 ・消防団活動服の購入 ・感染防止衣の購入 ・消防用ホースの購入 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度			
	救急資機材		式	1	1	1			
	防火衣		式	79	57	120			
	消防用ホース		本	122	130	130			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							消防活動等に必要な施設・装備等を更新し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。
	効率性	●							最新の施設・装備等を導入することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。
	公平性	●							計画的な施設・装備等の更新により市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。
将来性	●				消防体制の維持、強化のために計画的に施設・装備等の更新を実施することにより、市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。				
総合評価	A			老朽化した施設・装備等の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010302

事業名		消防車両整備事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
令和2年度決算額		114,911	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	106,100	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	8,811	千円				
事業費（総計）		125,489	千円				
決算額		114,911	千円				
人件費		10,578	千円				
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した消防車両を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。					
事業の内容		SDGs17の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・化学消防ポンプ自動車の更新（末広1号） ・消防ポンプ自動車の更新（勇払分団号） ・査察自動車の更新（査察8号） 					
実施結果（活動指標）							
		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		化学消防ポンプ自動車	台	1	1	0	
		消防ポンプ自動車	台	1	0	1	
		査察自動車	台	1	0	0	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●					老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、水火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られているため、「4」としました。
効率性		●					車両を更新することにより、車両運用の効率を図ることができているため、「4」としました。
公平性		●					計画的な消防車両の更新により、市民の安心安全を確保することができるため、「4」としました。
将来性		●					最新の車両を導入することにより、消防力が増強し市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。
総合評価		A		老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010303

事業名		消防車両保安整備事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和2年度決算額		44,999	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金	9,709	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	35,290	千円								
事業費（総計）		52,051	千円								
決算額		44,999	千円								
人件費		7,052	千円								
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、オーバーホールを実施し、消防体制の維持、強化を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>・大型高所放水車のオーバーホール</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度				
		大型高所放水車オーバーホール		台	1	0	0				
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							オーバーホールを実施することにより、消防体制の維持、強化を図ることができるため、「4」としました。		
効率性		●							車両性能の低下を未然に防ぎ、消火能力の維持を図ることができるため、「4」としました。		
公平性		●							車両の整備を行うことで、石油コンビナート地区の災害に対応し、石油の安定供給を図ることができるため、「4」としました。		
将来性		●				継続的に整備を実施することで、石油コンビナート地区における災害対応力の維持を図ることができるため、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり目的に沿った事業を実施できました。今後も車両の整備基準に基づき消防体制の維持強化に努めていきたいと考えております。					
特記事項											